

6章 これまでの働き方と高齢期（60歳以降）の働き方

1. 就職してから現在までの間にした自己啓発活動

就職してから現在までの間に、自分のキャリアのためにした自己啓発活動は、「職業資格を取得（取得中）」が14.0%で最も多く、次いで、「自宅で自学自習」（13.3%）、「社外の勉強会などに参加」（6.8%）、「通信教育を受講」（6.6%）がこれに続いている。また、「特に活動していない」は70.1%を占めている（図表54を参照）。

こうした就職してから現在までの間にした自己啓発活動について、第1に、従事している仕事別にみると、専門的・技術的な仕事に従事している者で、就職してから現在までの間にした自己啓発活動において、「社外の勉強会などに参加」、「通信教育を受講」及び「自宅で自学自習」、保安の仕事に従事している者で「職業資格を取得（取得中）」を指摘する者が多くなっている。他方、運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で「特に活動していない」が多くなっている。

図表54 就職してから現在までの間にした自己啓発活動（複数回答）

		（左段：件数、右段：行％）										
		調査数	夜間・休日などに学校に通学	職業資格を取得（取得中）	社外の勉強会などに参加	通信教育を受講	公共職業訓練を受講	海外留学	国内留学	自宅で自学自習	その他	特に活動していない
全体		4113	2.8	14.0	6.8	6.6	2.5	0.7	0.2	13.3	0.2	70.1
従事している仕事	管理的な仕事	42	9.5	9.5	14.3	11.9	-	7.1	2.4	11.9	-	66.7
	専門的・技術的な仕事	254	7.5	31.1	21.3	13.8	5.1	1.2	-	30.3	-	41.7
	事務的な仕事	1101	3.3	16.3	6.8	9.5	3.4	0.5	0.1	14.0	0.3	66.0
	販売の仕事	815	1.2	15.1	6.9	6.1	2.0	0.9	0.4	14.2	0.1	68.5
	サービスの仕事	613	3.6	11.4	8.5	4.4	1.5	1.0	0.2	13.1	0.3	71.3
	保安の仕事	57	-	43.9	5.3	3.5	5.3	-	-	8.8	-	52.6
	生産工程の仕事	476	1.7	7.4	3.6	2.3	2.1	0.2	0.2	9.2	-	81.5
	輸送・機械運転の仕事	79	2.5	7.6	1.3	2.5	1.3	-	-	8.9	-	79.7
	建設・採掘の仕事	20	5.0	35.0	10.0	10.0	-	-	5.0	10.0	-	60.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	2.6	7.7	1.5	3.6	1.8	0.4	-	5.5	-	83.9
	その他の仕事	382	1.8	7.3	2.4	5.5	1.8	0.5	-	10.5	0.5	79.3
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1890	3.1	14.1	7.2	6.7	3.3	0.7	0.2	13.0	0.2	69.7
	10年以上	2223	2.6	14.0	6.4	6.4	1.8	0.7	0.2	13.5	0.2	70.4
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	2.7	12.8	6.5	6.8	2.6	0.5	0.2	12.9	0.2	71.2
	40時間以上	1788	3.0	15.6	7.2	6.3	2.0	1.0	0.2	13.7	0.2	68.6
現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	1142	3.3	16.4	8.0	6.7	2.8	1.0	0.3	14.7	0.0	67.1
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	1762	2.7	13.8	7.3	6.8	2.3	0.6	0.1	13.4	0.3	69.8
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人がいない	1209	2.6	12.2	5.0	6.0	2.4	0.7	0.2	11.7	0.2	73.4
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	3.6	18.0	8.4	8.3	2.8	0.6	0.1	16.2	0.1	64.4
	やや当てはまる	1595	2.7	14.9	7.3	6.6	2.7	1.0	0.3	13.8	0.1	68.8
	あまり当てはまらない	882	2.5	12.7	6.3	5.1	2.5	0.7	0.1	12.4	0.3	72.6
	当てはまらない	770	2.6	9.2	4.3	6.2	1.6	0.3	0.1	9.9	0.3	76.1

（注）従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間に関わらず、就職してから現在までの間にした自己啓発活動はほぼ同じである。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、第5に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、

非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、就職してから現在までの間にした自己啓発活動が広範囲に広がっている。

2. 非正社員の「勤務先での正社員の定年制」適用状況

「勤務先での正社員の定年制」は非正社員にどの程度適用されるのであろうか。「正社員の定年制の対象となる」が21.1%、「正社員の定年制の対象ではないが、正社員の定年年齢までしか働けない」が7.0%、「正社員とは別に雇用される年齢の上限が決まっている」が14.8%、「雇用される年齢の上限は決まっていない」が20.4%、「わからない」が36.7%である（図表55を参照）。

こうした非正社員の「勤務先での正社員の定年制」適用状況について、第1に、従事している仕事別にみると、輸送・機械運転の仕事に従事している者で「正社員の定年制の対象となる」及び「正社員とは別に雇用される年齢の上限が決まっている」、販売の仕事に従事している者及び運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で「正社員とは別に雇用される年齢の上限が決まっている」、保安の仕事に従事している者で「雇用される年齢の上限は決まっていない」、を指摘する者が多くなっている。

図表55 非正社員の「勤務先での正社員の定年制」の適用状況

		(左段：件数、右段：行%)					
	調査数	正社員の定年制の対象となる	正社員ではないが、正社員の定年年齢までしか働けない	正社員とは別に雇用される年齢の上限が決まっている	雇用される年齢の上限は決まっていない	わからない	
全体	4113	21.1	7.0	14.8	20.4	36.7	
従事している仕事	管理的な仕事	42	14.3	4.8	16.7	28.6	35.7
	専門的・技術的な仕事	254	26.8	7.5	7.1	23.6	35.0
	事務的な仕事	1101	25.4	10.3	15.2	16.8	32.3
	販売の仕事	815	20.0	7.2	19.0	18.0	35.7
	サービスの仕事	613	13.5	3.6	11.1	29.7	42.1
	保安の仕事	57	7.0	3.5	14.0	38.6	36.8
	生産工程の仕事	476	23.9	7.4	13.9	20.8	34.0
	輸送・機械運転の仕事	79	27.8	5.1	20.3	22.8	24.1
	建設・採掘の仕事	20	10.0	10.0	10.0	35.0	35.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	21.5	4.7	19.3	14.6	39.8
	その他の仕事	382	17.0	4.5	13.1	17.5	47.9
現在の勤務先での勤務年数	5年以上10年未満	1890	20.0	5.9	13.3	20.1	40.8
	10年以上	2223	22.0	8.0	16.1	20.7	33.2
平均的な週の労働時間	20時間以上40時間未満	2325	20.0	5.9	13.3	20.1	40.8
	40時間以上	1788	22.0	8.0	16.1	20.7	33.2
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	24.1	6.2	18.1	25.6	25.9
	やや当てはまる	1595	22.1	7.9	16.1	20.8	33.2
	あまり当てはまらない	882	19.0	7.0	12.9	17.0	44.0
	当てはまらない	770	17.8	6.0	10.6	17.7	47.9

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間に関わらず、非正社員の「勤務先での正社員の定年制」適用状況はほぼ同じである。

これに対して、第4に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であ

るという方針を持っていると考えている者ほど、「正社員の定年制の対象となる」及び「正社員とは別に雇用される年齢の上限が決まっている」、を指摘する者が多くなっている。

3. 勤務先での「正社員の定年年齢」・「非正社員の雇用年齢の上限」

勤務先での正社員の定年年齢は、「60歳」が44.3%で最も多く、次いで、「65歳」（23.3%）、「定年はない」（10.4%）がこれに続いている（図表56を参照）。

他方、正社員とは別に雇用される年齢の上限が決まっている勤務先での非正社員の雇用年齢の上限は、「60歳」が11.3%、「61歳～64歳」が2.9%、「65歳」が49.8%、「66歳～69歳」が6.6%、「70歳以上」が21.5%となっている。

こうした非正社員の雇用年齢の上限について、第1に、勤務先の業種別にみると、運輸業、郵便業に勤務する者及び金融・保険業に勤務する者で「65歳」、卸売・小売業に勤務する者及び宿泊業、飲食サービス業に勤務する者で「70歳以上」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、非正社員の雇用年齢の上限はほぼ同じである。これに対して、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間が長い者ほど、「65歳」を指摘する者が多くなっている。

図表56 勤務先での「正社員の定年年齢」・「非正社員の雇用年齢の上限」

		調査数	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳	68歳	69歳	70歳以上	定年はない	わからない	
勤務先の正社員の定年年齢		4113	44.3	0.1	0.3	0.4	0.1	23.3	0.0	0.1	0.3	0.3	2.5	10.4	17.9	
勤務先の非正社員の雇用年齢の上限	全体	610	11.3	-	1.5	1.1	0.3	49.8	-	1.6	2.0	3.0	21.5	-	7.9	
	製造業	100	12.0	-	1.0	-	2.0	57.0	-	1.0	2.0	3.0	18.0	-	4.0	
	運輸業、郵便業	73	6.8	-	-	-	-	71.2	-	1.4	1.4	2.7	11.0	-	5.5	
	卸売・小売業	193	8.8	-	2.1	0.5	-	32.1	-	2.6	2.6	4.7	35.2	-	11.4	
	金融・保険業	71	16.9	-	1.4	4.2	-	69.0	-	-	-	1.4	4.2	-	2.8	
	宿泊業、飲食サービス業	32	12.5	-	-	3.1	-	21.9	-	3.1	6.3	-	37.5	-	15.6	
	他に分類されないサービス業	51	13.7	-	-	-	-	43.1	-	2.0	3.9	3.9	25.5	-	7.8	
	現在の勤務先での勤務年数	5年以上10年未満	251	12.4	-	0.8	0.8	0.8	47.8	-	2.4	1.6	3.2	22.3	-	8.0
	10年以上	359	10.6	-	1.9	1.4	-	51.3	-	1.1	2.2	2.8	20.9	-	7.8	
	平均的な週の労働時間	20時間以上40時間未満	349	10.9	-	1.1	1.7	0.3	47.6	-	1.7	2.6	3.7	21.5	-	8.9
40時間以上	261	11.9	-	1.9	0.4	0.4	52.9	-	1.5	1.1	1.9	21.5	-	6.5		

(注1) 勤務先での「正社員とは別に雇用される年齢の上限が決まっている」者の回答。
 (注2) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

4. 現在の勤務先での就労希望年齢

現在の勤務先での就労希望年齢は、「60歳ぐらいまで」が17.1%、「65歳ぐらいまで」が22.7%、「70歳ぐらいまで」が5.5%、「働ける限り年齢に関係なく」が23.9%、「わからない」が30.7%である（図表57を参照）。

こうした現在の勤務先での就労希望年齢について、第1に、年齢別にみると、年齢が低い者ほど、現在の勤務先での就労希望年齢が「働ける限り年齢に関係なく」、これに対して、年齢が高い者ほど、「65歳ぐらいまで」及び「70歳ぐらいまで」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、従事している仕事別にみると、専門的・技術的な仕事に従事している者及び事務的な仕事に従事している者で「60歳ぐらいまで」、輸送・機械運転の仕事に従事している者で「65歳ぐらいまで」、管理的な仕事に従事している者で「70歳ぐらいまで」、保安の仕事に従事している者で「働ける限り年齢に関係なく」、を指摘する者が多くなっている。従事する仕事で現在の勤務先での就労希望年齢は異なることが伺える。

第3に、現在の勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、第4に、平均的な週の労働時間(残業時間含む)別にみると、週の平均的な労働時間に関わらず、現在の勤務先での就労希望年齢はほぼ同じである。

図表 57 現在の勤務先での就労希望年齢

		調査数	(左段：件数、右段：行%)				
			60歳ぐ らいまで	65歳ぐ らいまで	70歳ぐ らいまで	働ける 限り年 齢に 関係な く	わか らな い
全体		4113	17.1	22.7	5.5	23.9	30.7
年齢	40～44歳	1045	13.7	13.6	2.9	27.8	42.1
	45～49歳	1210	15.9	16.3	4.9	25.5	37.5
	50～54歳	1003	21.1	25.0	5.5	22.3	26.0
	55～59歳	855	18.5	40.2	9.6	18.9	12.7
従事している仕事	管理的な仕事	42	9.5	16.7	21.4	26.2	26.2
	専門的・技術的な仕事	254	21.7	20.9	7.5	20.9	29.1
	事務的な仕事	1101	20.2	26.4	4.8	21.9	26.7
	販売の仕事	815	16.7	22.3	5.2	26.1	29.7
	サービスの仕事	613	15.2	18.1	5.1	26.6	35.1
	保安の仕事	57	7.0	19.3	12.3	36.8	24.6
	生産工程の仕事	476	16.6	23.7	5.5	21.0	33.2
	輸送・機械運転の仕事	79	15.2	31.6	3.8	27.8	21.5
	建設・採掘の仕事	20	10.0	20.0	5.0	15.0	50.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	13.1	21.9	6.6	24.8	33.6
	その他の仕事	382	16.2	20.2	4.5	23.3	35.9
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1890	17.2	20.2	5.1	23.7	33.8
	10年以上	2223	17.1	24.9	5.8	24.1	28.1
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	18.1	21.8	5.0	24.1	31.0
	40時間以上	1788	15.9	23.9	6.2	23.7	30.4

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

5. 就労希望年齢

現在の勤務先に限らず、特別な事情がなければ、将来何歳まで働きたい希望を持っているのであろうか。「60歳ぐらいまで」が7.9%、「65歳ぐらいまで」が19.9%、「70歳ぐらいまで」8.8%、「働ける限り年齢に関係なく」が43.5%、「できるだけ早く引退したい」が7.1%、「その他」が0.3%、「わからない」が12.6%である(図表58を参照)。

こうした就労希望年齢について、第1に、年齢別にみると、年齢が高い者ほど、現在の勤務先に限らず、特別な事情がなければ、「65歳ぐらいまで」及び「70歳ぐらいまで」、これに対して、年齢が低くなるほど、「できるだけ早く引退したい」、が多くなっている。

第2に、従事している仕事別にみると、「働ける限り年齢に関係なく」がすべての仕事に関係なく最も多くなっているが、とくに、管理的な仕事に従事している者、販売の仕事に従事している者及びサービスの仕事に従事している者が多くなっている。また、輸送・機械運転の仕事に従事している者で「65歳ぐらいまで」を指摘する者が

多くなっている。

第3に、現在の勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、第4に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間に関わらず、現在の勤務先での就労希望年齢と同様に、就労希望年齢はほぼ同じである。

図表 58 就労希望年齢

(左段：件数、右段：行%)

		調査数	60歳くらいまで	65歳くらいまで	70歳くらいまで	働ける限り年齢に関係なく	できるだけ早く引退したい	その他	わからない
全体		4113	7.9	19.9	8.8	43.5	7.1	0.3	12.6
年齢	40～44歳	1045	7.8	13.9	5.6	45.3	10.0	0.5	16.9
	45～49歳	1210	8.3	16.5	7.2	46.4	7.9	0.2	13.4
	50～54歳	1003	9.0	21.2	8.9	43.0	5.9	0.1	12.0
	55～59歳	855	6.1	30.5	14.7	37.8	3.9	0.2	6.8
従事している仕事	管理的な仕事	42	2.4	11.9	16.7	50.0	7.1	2.4	9.5
	専門的・技術的な仕事	254	10.6	18.5	11.8	40.6	9.1	0.4	9.1
	事務的な仕事	1101	9.1	23.3	7.9	42.1	6.4	0.2	11.1
	販売の仕事	815	8.0	17.9	8.2	47.0	5.8	0.2	12.9
	サービスの仕事	613	8.8	17.6	9.0	48.0	5.7	0.3	10.6
	保安の仕事	57	1.8	15.8	15.8	45.6	10.5	-	10.5
	生産工程の仕事	476	6.9	22.3	8.8	38.2	9.9	-	13.9
	輸送・機械運転の仕事	79	6.3	26.6	11.4	39.2	6.3	-	10.1
	建設・採掘の仕事	20	5.0	20.0	-	60.0	10.0	-	5.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	2.9	19.7	11.3	40.1	10.9	0.7	14.2
	その他の仕事	382	7.9	16.2	6.0	42.9	6.3	0.3	20.4
	現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1890	8.1	18.8	8.2	43.4	7.6	0.3
10年以上		2223	7.7	20.9	9.2	43.6	6.7	0.2	11.7
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	8.7	20.3	7.7	43.7	6.2	0.3	13.0
	40時間以上	1788	6.8	19.4	10.1	43.2	8.3	0.2	12.0

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

6. 意欲的に取り組んでいること

現在、意欲的に取り組んでいることは、「健康管理や体力づくりを進めること」が35.9%で最も多く、次いで、「趣味を持つこと、趣味を広げること」(29.3%)、「高齢期の生活設計を立てること（資産や財産形成の準備・計画など）」(16.2%)、「友人とのつきあいを広げること・強めること」(15.1%)、「子供・両親や親戚との関係を親密にすること」(13.8%)、「教養を身につけておくこと」(12.8%)、「社会への関心を高めておくこと」(12.4%)、がこれに続いている（図表 59 を参照）。

こうした現在、意欲的に取り組んでいることについて、第1に、従事している仕事別にみると、専門的・技術的な仕事に従事している者で、「高齢期の生活設計を立てること（資産や財産形成の準備・計画など）」、「専門能力を高めたり、公的資格を取得すること」、「趣味を持つこと、趣味を広げること」、「子供・両親や親戚との関係を親密にすること」、「健康管理や体力づくりを進めること」、「社会への関心を高めておくこと」及び「教養を身につけておくこと」、事務的な仕事に従事している者で「健康管理や体力づくりを進めること」、サービスの仕事に従事している者で「友人とのつきあいを広げること・強めること」、を指摘する者が多くなっている。また、保安の仕事

に従事している者、輸送・機械運転の仕事に従事している者、運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者及びその他の仕事に従事している者で「特になし」を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、現在、意欲的に取り組んでいることが広範囲に広がっている。

図表 59 現在意欲的に取り組んでいること（複数回答）

	調査数	(左段：件数、右段：行%)														
		高齢期の生活設計を立てること（資産や財産形成の準備・計画など）	専門能力を高めたり、公的資格を取得すること	さまざまな仕事を体験しようとする	主体的に自分のキャリア・職業生活を考えること	友人とのつきあいを広げること・強めること	趣味を持つこと、趣味を広げること	地域活動（ボランティアや町内会など）を広げること	夫婦の関係を親密にすること	子供・両親や親戚との関係を親密にすること	健康管理や体力づくりを進めること	社会への関心を高めておくこと	教養を身につけておくこと	その他	特になし	
全体	4113	16.2	6.6	6.4	7.4	15.1	29.3	3.8	10.7	13.8	35.9	12.4	12.8	0.1	35.4	
従事している仕事	管理的な仕事	42	19.0	23.8	9.5	11.9	9.5	16.7	9.5	11.9	9.5	23.8	11.9	11.9	-	33.3
	専門的・技術的な仕事	254	23.2	18.1	10.2	16.1	16.9	36.6	9.1	14.6	17.3	39.0	20.5	22.0	0.4	20.1
	事務的な仕事	1101	18.7	6.3	6.6	6.9	16.8	31.9	3.2	10.2	14.4	40.7	13.4	13.7	0.1	33.4
	販売の仕事	815	14.7	6.3	5.5	7.4	16.8	31.0	4.2	12.0	14.6	36.9	11.8	12.8	0.1	33.1
	サービスの仕事	613	15.3	6.7	7.8	9.1	18.1	27.6	3.6	12.1	14.7	36.9	10.6	11.6	0.2	33.1
	保安の仕事	57	10.5	5.3	1.8	5.3	12.3	26.3	1.8	3.5	7.0	28.1	15.8	12.3	-	43.9
	生産工程の仕事	476	14.9	4.0	6.5	5.5	12.6	31.5	3.2	10.5	16.6	34.9	11.6	11.3	0.2	35.3
	輸送・機械運転の仕事	79	11.4	2.5	3.8	2.5	13.9	29.1	3.8	7.6	5.1	32.9	13.9	10.1	-	44.3
	建設・採掘の仕事	20	30.0	10.0	10.0	5.0	5.0	30.0	10.0	10.0	25.0	25.0	30.0	20.0	-	45.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	15.3	4.7	5.1	4.7	9.5	23.0	4.7	7.3	8.8	31.0	10.9	12.4	-	43.8
その他の仕事	382	11.8	4.5	3.9	5.8	9.2	19.6	1.6	9.2	9.2	24.3	9.4	8.9	0.3	50.8	
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	21.2	9.0	7.5	9.5	19.9	36.3	5.4	14.7	17.4	44.8	17.4	17.6	1.0	24.6
	やや当てはまる	1595	16.7	6.8	6.1	8.0	17.1	31.9	4.3	12.2	15.0	39.0	13.2	13.3	1.0	31.3
	あまり当てはまらない	882	13.3	6.2	5.6	5.9	11.1	26.1	2.8	7.1	10.2	30.6	10.1	11.6	3.0	41.6
	当てはまらない	770	12.9	4.2	6.5	5.6	10.1	19.7	2.2	7.4	11.0	25.3	7.9	8.1	0.0	49.0

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

7. 高齢期に働く場合、最もよいと思う働き方

高齢期（おおむね60歳以降）に働く場合、最もよいと思う働き方は「就業時間や日数を減らして働く」が41.8%で最も多く、次いで、「現在と同程度の就業時間や日数で働く」（24.8%）、「わからない」（13.1%）、「必要がなければ働かない」（8.0%）がこれに続いている（図表60を参照）。

こうした高齢期に働く場合、最もよいと思う働き方について、第1に、年齢別にみると、年齢が高い者ほど、

最もよいと思う働き方は「現在と同程度の就業時間や日数で働く」を指摘する者が多くなっている。また、「就業時間や日数を減らして働く」については、年齢に関わらず、指摘率はほぼ同じである。

第2に、従事している仕事別にみると、サービスの仕事に従事している者及び保安の仕事に従事している者で「就業時間や日数を減らして働く」、事務的な仕事に従事している者で「現在と同程度の就業時間や日数で働く」、運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で「必要がなければ働かない」、を指摘する者が多くなっている。

図表 60 高齢期に働く場合、最もよいと思う働き方

		(左段：件数、右段：行%)										
		調査数	現在と同程度の就業時間や日数で働く	就業時間や日数を減らして働く	就業時間や日数を増やして働く	在宅就労をする	スポット的に働く	起業する	家業の手伝いをする	その他	必要がなければ働かない	わからない
全体		4113	24.8	41.8	1.8	3.3	4.5	2.1	0.5	0.1	8.0	13.1
年齢	40～44歳	1045	18.8	42.9	1.2	4.2	5.6	2.1	0.9	-	9.7	14.6
	45～49歳	1210	23.8	41.7	2.4	3.3	3.8	2.1	0.6	0.2	7.3	14.9
	50～54歳	1003	26.9	41.1	1.7	3.3	4.5	1.5	0.5	0.3	8.0	12.3
	55～59歳	855	31.1	41.4	1.5	2.3	4.0	2.8	0.1	0.1	6.8	9.8
従事している仕事	管理的な仕事	42	16.7	38.1	2.4	9.5	2.4	7.1	-	-	7.1	16.7
	専門的・技術的な仕事	254	24.8	42.5	0.4	6.3	6.3	2.0	0.8	-	7.1	9.8
	事務的な仕事	1101	27.2	43.5	2.4	3.6	4.4	1.5	0.4	0.2	7.1	9.8
	販売の仕事	815	25.4	44.9	1.6	1.6	3.9	1.8	0.5	0.2	8.2	11.8
	サービスの仕事	613	20.4	47.3	1.6	2.3	4.1	2.1	0.7	-	7.8	13.7
	保安の仕事	57	24.6	47.4	-	1.8	3.5	3.5	-	-	7.0	12.3
	生産工程の仕事	476	25.2	34.5	1.5	5.7	4.6	2.1	0.8	0.4	9.7	15.5
	輸送・機械運転の仕事	79	26.6	35.4	2.5	1.3	5.1	3.8	-	-	7.6	17.7
	建設・採掘の仕事	20	25.0	20.0	5.0	10.0	10.0	10.0	-	-	10.0	10.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	25.5	33.9	2.6	2.9	4.7	4.4	1.1	-	11.7	13.1
	その他の仕事	382	23.3	37.7	1.0	2.9	5.0	1.0	0.3	-	6.0	22.8

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

8. 高齢期に働く場合に、重視したい条件

高齢期に働く場合に、重視したい条件は、「通勤に便利なこと」が68.4%で最も多く、次いで、「休みが取りやすいこと」(52.1%)、「都合のよい時間や曜日に働けること」(51.1%)、「ストレスが少ないこと」(50.8%)、「これまでに経験のある仕事内容であること」(43.0%)、「身体的負担が少ないこと」(42.7%)、「慣れた職場環境であること」(41.9%)、「賃金に納得できること」(40.5%)、「手当やボーナスが充実していること」(19.2%)がこれに続いている(図表 61を参照)。

こうした高齢期に働く場合に、重視したい条件について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者及び専門的・技術的な仕事に従事している者で「これまでに経験のある仕事内容であること」、事務的な仕事に従事している者で「通勤に便利なこと」、「慣れた職場環境であること」及び「ストレスが少ないこと」、販売の仕事に従事している者で「通勤に便利なこと」、「慣れた職場環境であること」及び「ストレスが少ない」、

サービスの仕事に従事している者で「都合のよい時間や曜日に働けること」、「身体的負担が少ないこと」、保安の仕事に従事している者で「都合のよい時間や曜日に働けること」、「賃金に納得できること」、「手当やボーナスが充実していること」、生産工程の仕事に従事している者で「休みが取りやすいこと」及び「ストレスが少ないこと」、を指摘する者が多くなっている。従事している仕事で高齢期に働く場合に、重視したい条件も異なっていることが伺える。

第2に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間が長い者ほど、「賃金に納得できること」及び「手当やボーナスが充実していること」、これに対して、短い者ほど、「通勤に便利なこと」及び「都合のよい時間や曜日に働けること」、を指摘する者が多くなっている。働く時間によっても高齢期に働く場合に、重視したい条件も異なっていることが伺える。

第3に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、高齢期に働く場合に、重視したい条件が広範囲に広がっている。

図表 61 高齢期に働く場合に、重視したい条件（複数回答）

(左段：件数、右段：行%)

	調査数	通勤に便利なこと	これまでに経験のある仕事内容であること	慣れた職場環境であること	都合のよい時間や曜日に働けること	休みが取りやすいこと	賃金に納得できること	手当やボーナスが充実していること	親しい仲間がいること	身体的負担が少ないこと	ストレスが少ないこと	福利厚生制度や施設が利用できること	地域や社会の役に立つこと	若い人たちと一緒に働けること	その他	特に重視する条件はない	
全体	4113	68.4	43.0	41.9	51.1	52.1	40.5	19.2	16.9	42.7	50.8	13.5	6.5	5.3	0.0	7.1	
従事している仕事	管理的な仕事	42	52.4	50.0	35.7	40.5	35.7	42.9	23.8	19.0	42.9	40.5	16.7	9.5	7.1	-	14.3
	専門的・技術的な仕事	254	63.0	52.8	38.6	44.9	53.1	42.9	21.7	16.1	45.3	50.4	11.8	9.1	3.9	-	3.9
	事務的な仕事	1101	72.9	47.2	44.6	52.0	53.3	42.5	20.3	15.5	42.1	53.1	13.2	7.4	5.1	-	5.0
	販売の仕事	815	72.1	47.1	44.9	54.5	52.4	39.6	17.4	18.5	44.2	53.4	14.7	6.0	6.4	-	3.9
	サービスの仕事	613	68.2	41.8	41.4	56.6	50.9	38.3	15.3	21.2	45.7	51.2	12.7	5.5	6.5	-	6.9
	保安の仕事	57	63.2	36.8	35.1	61.4	49.1	45.6	26.3	10.5	38.6	52.6	8.8	7.0	7.0	-	5.3
	生産工程の仕事	476	65.8	37.0	42.9	49.6	56.3	42.2	21.6	17.4	43.9	52.9	15.1	4.6	3.8	-	9.2
	輸送・機械運転の仕事	79	57.0	34.2	32.9	40.5	46.8	38.0	22.8	11.4	35.4	50.6	11.4	7.6	3.8	-	13.9
	建設・採掘の仕事	20	50.0	40.0	45.0	50.0	55.0	65.0	35.0	40.0	65.0	55.0	35.0	15.0	10.0	-	5.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	68.2	36.9	43.4	51.5	54.0	38.7	18.6	16.8	44.2	48.5	11.7	7.3	4.7	-	8.0
その他の仕事	382	60.7	31.9	31.4	40.1	46.1	36.1	18.1	11.0	33.5	38.0	13.1	5.5	3.9	0.3	17.5	
平均的な週の労働時間	20時間以上40時間未満	2325	71.3	43.5	43.8	55.4	54.1	37.2	16.0	17.8	44.8	52.2	11.7	6.4	5.8	0.0	6.2
	40時間以上	1788	64.7	42.4	39.4	45.5	49.6	44.9	23.3	15.7	40.1	49.0	15.8	6.7	4.6	0.1	8.3
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	73.6	51.6	49.1	58.9	59.8	47.1	20.3	21.0	51.5	59.0	15.6	8.5	7.5	0.0	2.1
	やや当てはまる	1595	71.8	46.9	45.3	54.0	54.5	41.5	18.0	17.6	43.9	52.2	13.2	5.9	4.9	0.1	4.3
	あまり当てはまらない	882	64.7	38.0	37.6	46.6	47.5	36.4	18.7	15.6	37.6	46.6	12.6	6.5	4.9	0.0	9.6
	当てはまらない	770	59.9	31.2	31.4	41.6	43.8	35.8	20.8	12.2	36.2	43.5	12.9	0.6	3.9	0.0	15.8

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

9. 高齢期に働くのに必要な準備

高齢期に働くのに必要な準備は「健康や体力の維持・向上」が53.1%で最も多く、次いで、「高齢期の仕事に必

要な知識や技能の習得」（23.2%）、「転職情報の収集」（19.5%）、「働く可能性のある職場への働きかけ」（17.3%）、「人脈づくり」（16.0%）、「高齢期の収支シミュレーション」（14.7%）、「中長期的なキャリアプランの設計」（11.5%）がこれに続いている。また、「特に考えていない」は25.7%存在している（図表62を参照）。

こうした高齢期に働くのに必要な準備について、第1に、年齢別にみると、年齢が低い者ほど、「中長期的なキャリアプランの設計」及び「高齢期の収支シミュレーション」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で「中長期的なキャリアプランの設計」及び「高齢期の仕事に必要な知識や技能の習得」、専門的・技術的な仕事に従事している者で「中長期的なキャリアプランの設計」、「高齢期の仕事に必要な知識や技能の習得」、「職場に貢献する方法の検討」、「働く可能性のある職場への働きかけ」及び「人脈づくり」、事務的な仕事に従事している者で「高齢期の仕事に必要な知識や技能の習得」、生産工程の仕事に従事している者で「健康や体力の維持・向上」、運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で「転職情報の収集」、を指摘する者が多くなっている。また、輸送・機械運転の仕事に従事している者で「職場に貢献する方法の検討」、「特に考えていない」を指摘する者が多くなっている。

第3に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、高齢期に働くのに必要な準備が広範囲に広がっている。

図表62 高齢期に働くのに必要な準備（複数回答）

		(左段：件数、右段：行%)										
		調査数	中長期的なキャリアプランの設計	高齢期の仕事に必要な知識や技能の習得	職場に貢献する方法の検討	働く可能性のある職場への働きかけ	転職情報の収集	高齢期の収支シミュレーション	健康や体力の維持・向上	人脈づくり	その他	特に考えていない
全体		4113	11.5	23.2	8.6	17.3	19.5	14.7	53.1	16.0	0.0	25.7
年齢	40～44歳	1045	15.1	25.8	9.3	17.5	19.5	16.5	54.4	18.5	-	23.1
	45～49歳	1210	12.4	22.8	8.8	16.7	19.4	15.0	49.9	17.3	-	28.1
	50～54歳	1003	10.0	22.0	8.3	16.7	19.6	13.8	53.0	15.6	0.1	25.7
	55～59歳	855	7.6	22.1	8.0	18.7	19.2	13.2	56.1	11.6	0.1	25.4
従事している仕事	管理的な仕事	42	23.8	31.0	4.8	9.5	16.7	16.7	38.1	11.9	-	28.6
	専門的・技術的な仕事	254	18.9	29.9	15.4	25.6	19.7	16.5	49.2	20.9	-	18.9
	事務的な仕事	1101	13.0	29.5	8.0	16.4	21.7	16.9	56.2	16.5	-	21.4
	販売の仕事	815	9.0	21.3	8.0	17.7	17.5	12.0	54.4	16.7	-	25.0
	サービスの仕事	613	12.6	19.9	8.2	20.4	18.1	13.9	52.7	15.7	0.3	23.3
	保安の仕事	57	7.0	22.8	7.0	21.1	15.8	14.0	52.6	12.3	-	31.6
	生産工程の仕事	476	10.1	20.2	8.2	13.9	19.7	15.8	56.7	12.8	-	28.4
	輸送・機械運転の仕事	79	11.4	20.3	13.9	16.5	10.1	11.4	41.8	12.7	-	38.0
	建設・採掘の仕事	20	20.0	30.0	15.0	30.0	30.0	15.0	65.0	40.0	-	30.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	9.1	19.3	8.4	14.6	22.6	15.3	55.1	15.3	-	28.8
	その他の仕事	382	8.4	16.2	8.1	14.7	18.6	12.8	42.1	14.9	-	38.0
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	13.4	26.2	12.0	20.7	24.2	19.4	64.0	20.0	0.0	16.1
	やや当てはまる	1595	11.8	25.3	8.0	17.9	20.5	14.4	56.4	16.4	0.0	22.4
	あまり当てはまらない	882	10.4	20.9	8.4	17.0	17.6	13.5	46.8	14.9	0.2	29.9
	当てはまらない	770	9.9	18.3	6.5	12.7	14.0	11.4	41.3	11.8	0.0	38.3

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

10. 高齢期の生活について不安に思っていること

高齢期の生活について不安に思っていることは、「生活費に困ること」が77.8%で最も多く、次いで、「自分の健康」(70.2%)、「年金が充分受給できるか」(67.4%)、「家族の健康」(47.9%)、「仕事がなくなること」(46.6%)、「自分が要介護になること」(46.2%)、「家族・親戚などの介護」(35.2%)、「景気の悪化」(34.2%)、「生きがいがないこと」(24.7%)、「人とのつながりが減ること」(21.6%)がこれに続いている(図表63を参照)。

こうした高齢期の生活について不安に思っていることについて、第1に、年齢別にみると、年齢が低い者ほど、「生活費に困ること」、「年金が充分受給できるか」、「生きがいがないこと」及び「自分が要介護になること」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で「景気の悪化」及び「生きがいがないこと」、事務的な仕事に従事している者で「自分の健康」、「家族の健康」、「自分が要介護になること」、「家族・親戚などの介護」及び「子供の将来」、販売の仕事に従事している者で、「生活費に困ること」、「年金が充分受給できるか」、「仕事がなくなること」、「自分の健康」、「家族の健康」及び「家族・親戚などの介護」、保安の仕事に従事している者で「景気の悪化」、「仕事がなくなること」、「人とのつながりが減ること」、「時間を持て余すこと」及び「自分の健康」を指摘する者が多くなっている。

第3に、主な収入源別にみると、配偶者の収入で「家族の健康」、配偶者以外の世帯員の収入で「仕事がなくなること」、を指摘する者が多くなっている。

図表63 高齢期の生活について不安に思っていること(複数回答)

		(左段：件数、右段：行%)															
		調査数	生活費に困ること	年金が充分受給できるか	景気の悪化	仕事がなくなること	生きがいがないこと	人とのつながりが減ること	時間を持て余すこと	自分の健康	家族の健康	自分が要介護になること	家族・親戚などの介護	子供の将来	その他	不安はない	考えたことがない
全体		4113	77.8	67.4	34.2	46.6	24.7	21.6	14.6	70.2	47.9	46.2	35.2	17.4	0.3	0.3	3.5
年齢	40～44歳	1045	82.6	69.1	38.1	48.4	28.1	26.0	17.8	70.6	47.1	47.5	38.2	18.4	0.4	0.5	3.6
	45～49歳	1210	80.2	68.5	33.6	46.4	24.0	22.1	14.6	67.0	45.7	46.6	34.8	17.7	0.5	0.2	3.7
	50～54歳	1003	74.3	67.2	33.7	45.5	23.4	18.4	12.4	70.6	49.7	45.8	36.1	18.0	0.3	0.3	4.4
	55～59歳	855	72.5	64.1	31.0	46.1	23.0	19.3	13.1	73.9	49.8	44.8	31.2	15.2	-	0.5	2.2
従事している仕事	管理的な仕事	42	76.2	54.8	45.2	45.2	31.0	21.4	14.3	59.5	42.9	35.7	21.4	16.7	-	-	2.4
	専門的・技術的な仕事	254	68.9	61.0	34.3	41.7	27.2	20.9	12.2	62.6	44.5	41.3	31.9	15.0	-	1.6	4.7
	事務的な仕事	1101	79.3	68.5	32.3	47.7	24.0	23.6	15.4	73.7	52.3	50.0	38.6	19.3	0.3	0.3	2.3
	販売の仕事	815	80.6	70.8	36.4	50.3	24.4	23.2	14.1	73.0	52.9	47.5	38.7	18.9	0.4	0.2	1.7
	サービスの仕事	613	79.9	70.1	34.3	45.7	26.9	22.2	15.8	68.7	47.1	47.5	34.7	18.9	0.5	0.3	3.1
	保安の仕事	57	77.2	68.4	42.1	64.9	24.6	26.3	22.8	75.4	36.8	45.6	31.6	7.0	-	-	3.5
	生産工程の仕事	476	80.5	68.3	37.0	47.5	25.8	20.4	16.4	71.6	46.4	45.4	34.9	15.5	0.4	-	4.0
	輸送・機械運転の仕事	79	65.8	65.8	30.4	35.4	20.3	15.2	6.3	62.0	30.4	32.9	22.8	10.1	-	-	7.6
	建設・探掘の仕事	20	80.0	60.0	35.0	55.0	35.0	25.0	30.0	70.0	45.0	50.0	50.0	20.0	5.0	-	15.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	75.2	62.0	28.5	46.0	25.5	20.1	12.8	68.6	39.1	46.4	31.0	14.6	-	0.7	4.4
	その他の仕事	382	70.9	61.8	33.8	39.0	20.2	15.2	11.3	63.6	41.9	38.7	28.5	15.7	0.3	0.3	8.6
	主な収入源	あなた自身の収入	2083	79.6	66.0	33.0	48.8	23.2	18.9	10.9	68.9	34.9	45.6	27.5	11.7	0.3	0.5
配偶者の収入		1688	75.2	69.1	34.8	42.7	26.4	24.5	19.3	71.7	63.7	46.4	43.7	26.7	0.3	0.2	2.6
配偶者以外の世帯員の収入		320	79.1	67.2	38.8	50.9	26.3	24.4	13.1	70.6	48.1	49.1	40.6	5.6	0.3	0.3	5.0
その他		22	81.8	72.7	36.4	77.3	18.2	18.2	18.2	77.3	59.1	50.0	40.9	18.2	-	-	4.5

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。